

令和7年度
教育課程特例校における特別の教育課程
【実施状況報告】

池田市立 池田小学校

1. 概要

池田市では平成16年3月に構造改革特別区域計画の認定を受け、「教育のまち池田」特区に取り組んできました。市立小学校全学年に「英語活動」を教科として導入（全学年年間35時間）し、平成18年度より全小学校で実施してきました。

平成20年7月より「構造改革特別区域研究開発学校」規制の特例措置が全国展開されたことにより、本市の特例認定は取り消され、文部科学省の「教育課程特例校」指定に移行し、これまでの特区内容の教育課程を継続実施しています。

平成25年度に「教育課程特例校」の実施期間の終了を迎えましたが、平成26年度以降も継続を申請し、1～4年生における「英語活動」の授業を実施しました。

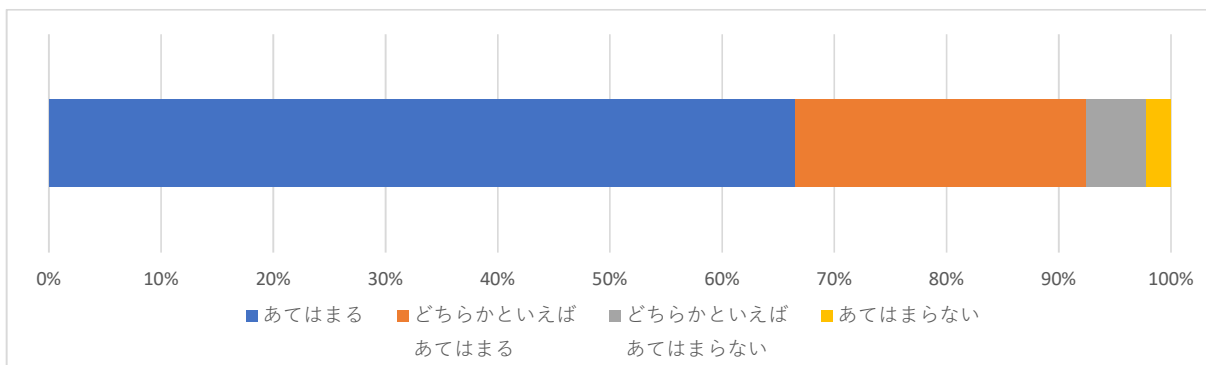
新学習指導要領への移行に伴い、「英語活動」は引き続き1・2年生で実施し、幼稚園、小・中・義務教育学校での継続的な英語学習をすすめています。

この1・2年生の「英語活動」は生活科の時間を活用して年間15時間実施しています。内容としては主に英語のリズムや音に慣れ親しむ活動を重点にし、挨拶や動作、身の回りのものを表す単語を題材にした活動を取り入れています。早期の段階から英語に触れることで、ことばや文化に対する関心を高め、正しく理解し、国際社会で生きる力を育成することをねらいとしています。中学年からの外国語活動、高学年からの外国語科への学びの連続性を意識して指導にあたっています。

2. 児童アンケートの結果

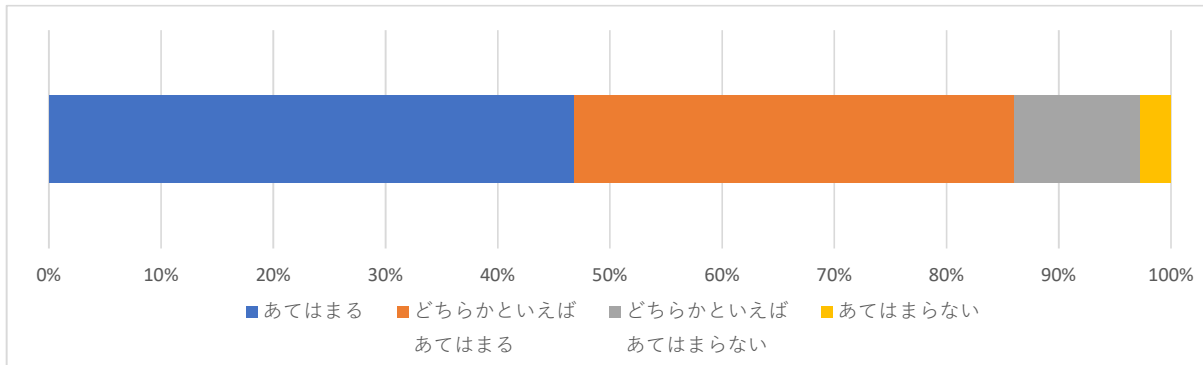
① 英語の勉強は好きだ。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	84	24	2	2
2年生	65	34	10	3
合計	149	58	12	5



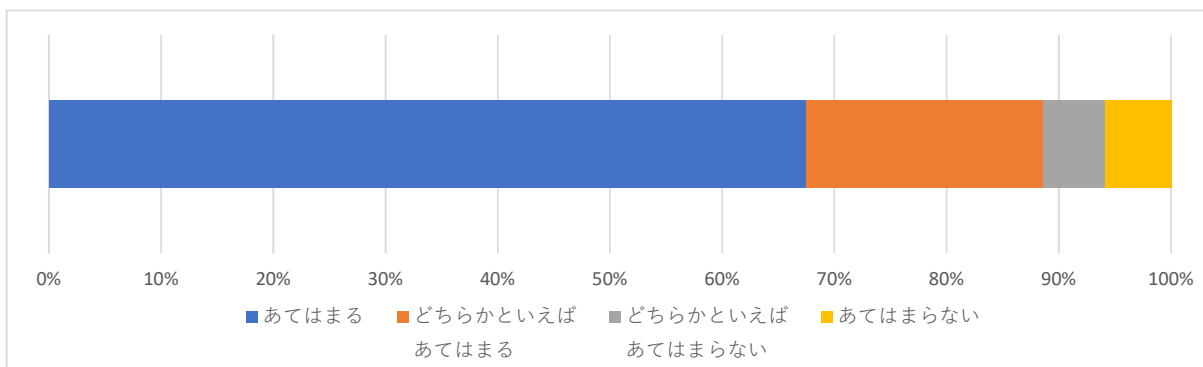
② 英語の授業はよくわかる。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	57	40	9	5
2年生	47	47	16	1
合計	104	87	25	6



③ 外国の人と英語を使って話せるようになりたい。

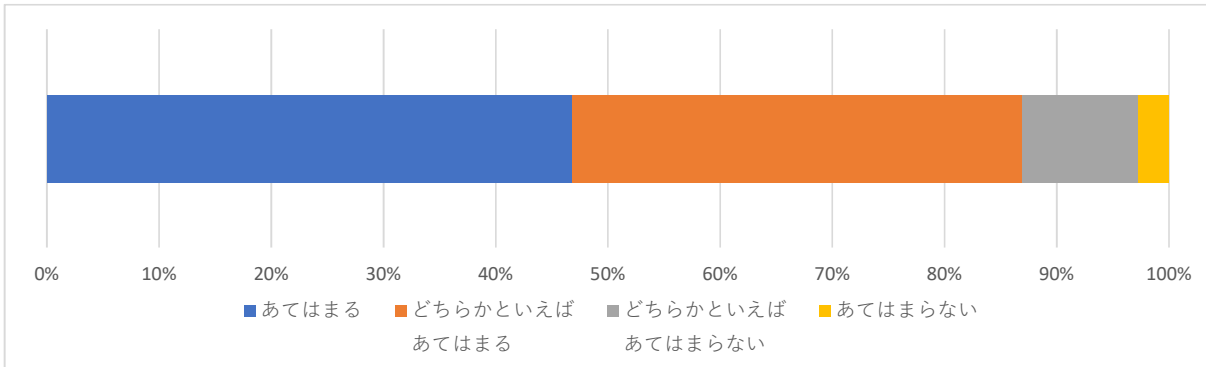
	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	78	19	2	3
2年生	59	24	9	9
合計	137	43	11	12



3. 保護者アンケートの結果

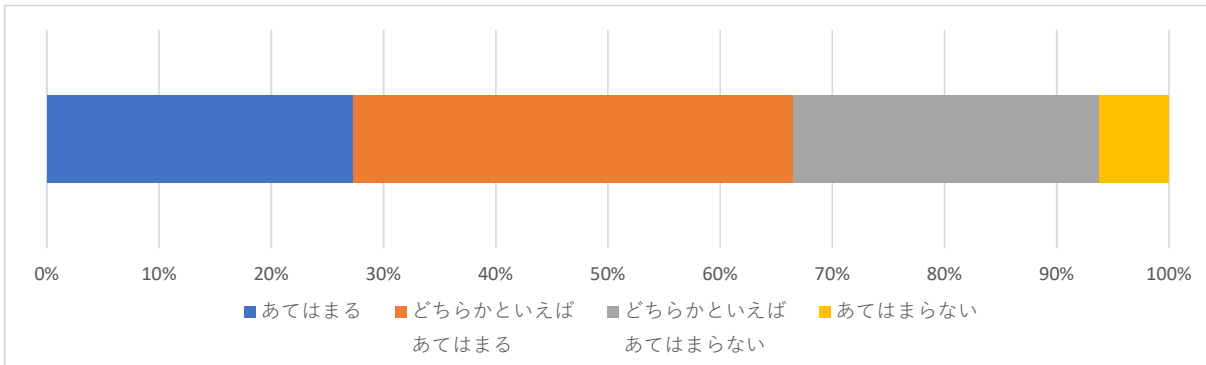
① 児童は英語活動を楽しんでいますか。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
合計	104	89	23	6



② 英語の授業のことを家庭で話題にしますか

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
合計	62	89	62	14



4. 学校関係者からの意見

- ・低学年から英語に触れ、段階的に学習することで、英語学習に意欲的に取り組むことができている。特に早い段階から歌や簡単な英会話、英語を使ったゲームなどを通して、楽しみながら英語学習を行うことで、高学年や中学校に入り、本格的に英語学習が始まっても、抵抗なく取り組んでいる様子がうかがえる。
- ・本校独自の取組みであるイングリッシュタウンでは、異学年交流で英語でのコミュニケーションを取る機会を設けている。それぞれの学習段階に応じた英語を使い、実践的なやりとりを行う。これらの取組みを通して、日常的に英語を使いたいという意欲の向上につながっている。
- ・今年度、外部検定であるGTECを実施したことで、客観的な評価が得られ、授業改善につなげることができた。今後も定期的実施することで、これまでの取組みを振り返るきっかけとなる。

5. 今後に向けて

- ・中学年の外国語活動、高学年の英語科にスムーズにつなげていくために、低学年では英語を使った活動をたくさん取り入れながら、これまで以上に楽しく英語を学べるよう、カリキュラムの確認・修正を行う。
- ・イングリッシュタウンなど、本校独自の英語の取組みを充実させ、実践的な英語を用いたコミュニケーションを行う機会を確保することで、子どもたちの意欲の向上に努める。
- ・今年度、実施したGTECの結果を活用し、本校の傾向を分析し、低学年から中学年、高学年へのつながりを意識した指導を継続していく。